
富田林市
第7期富田林市障がい福祉計画・
第3期障がい児福祉計画策定の
ためのアンケート調査

－ 調査結果（速報） －

令和5年(2023年)9月

富田林市

目 次

調査方法と回収状況	1
主な調査結果	2
1 日ごろの生活や社会参加について	2
2 働くことについて	9
3 在宅時の介助について	12
4 福祉サービスについて	14
5 地域での生活について	17

調査方法と回収状況

令和6年度(2024年度)を始期とする「第7期富田林市障がい福祉計画」、「第3期富田林市障がい児福祉計画」の策定に向けて、障がいのある人や家族の状況、サービスの利用意向、福祉施策等に対する意見を把握し、今後の施策立案に必要な資料を得るために、アンケート調査を実施しました。

調査の方法と回収状況、回答者の主な属性

調査対象	市内に在住する障がい者手帳をお持ちの人、または障がい福祉サービスを利用している人の中から無作為に選んだ1,500人
調査方法	郵送による配付・回収、催告1回
調査期間	令和5年(2023年)7～8月
回収状況	配布数 1,500件／有効回答数 751件／有効回答率 50.1%
回答者の主な属性	<p>回答者：本人（代筆含む） 63.5%、家族等支援者 31.0%、その他 0.9%</p> <p>性別：男性 54.5%、女性 42.6%、回答したくない 1.9%</p> <p>年齢：0～17歳 13.6%、18～39歳 30.5%、40～64歳 44.1%、65歳以上 4.7%</p> <p>障がい支援区分認定：認定を受けている 38.0%、認定を受けていない 40.6%</p> <p>障がい者手帳の所持状況：身体障がい者手帳 39.8%（視覚 2.7%、聴覚・平衡 3.5%、音声・言語 3.7%、肢体 23.0%、内部 7.2%）、療育手帳 46.5%、精神障がい者保健福祉手帳 27.7%、いずれの手帳も持っていない 1.7%</p> <p>その他、障がいに関わる状況：難病認定を受けている 7.3%、発達障がいと診断された 32.9%、高次脳機能障がいと診断された 5.5%</p> <p>介助・支援の必要度：いつも介助や支援が必要 22.1%、場合によっては介助や支援が必要なものがある 43.7%、介助や支援は必要ない 30.1%</p> <p>医療的ケア：受けている 8.1%、受けていない 87.7%</p> <p style="text-align: right;">※無回答の表記は割愛</p>

※アンケート調査結果の各設問の母数n (Numberofcaseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。

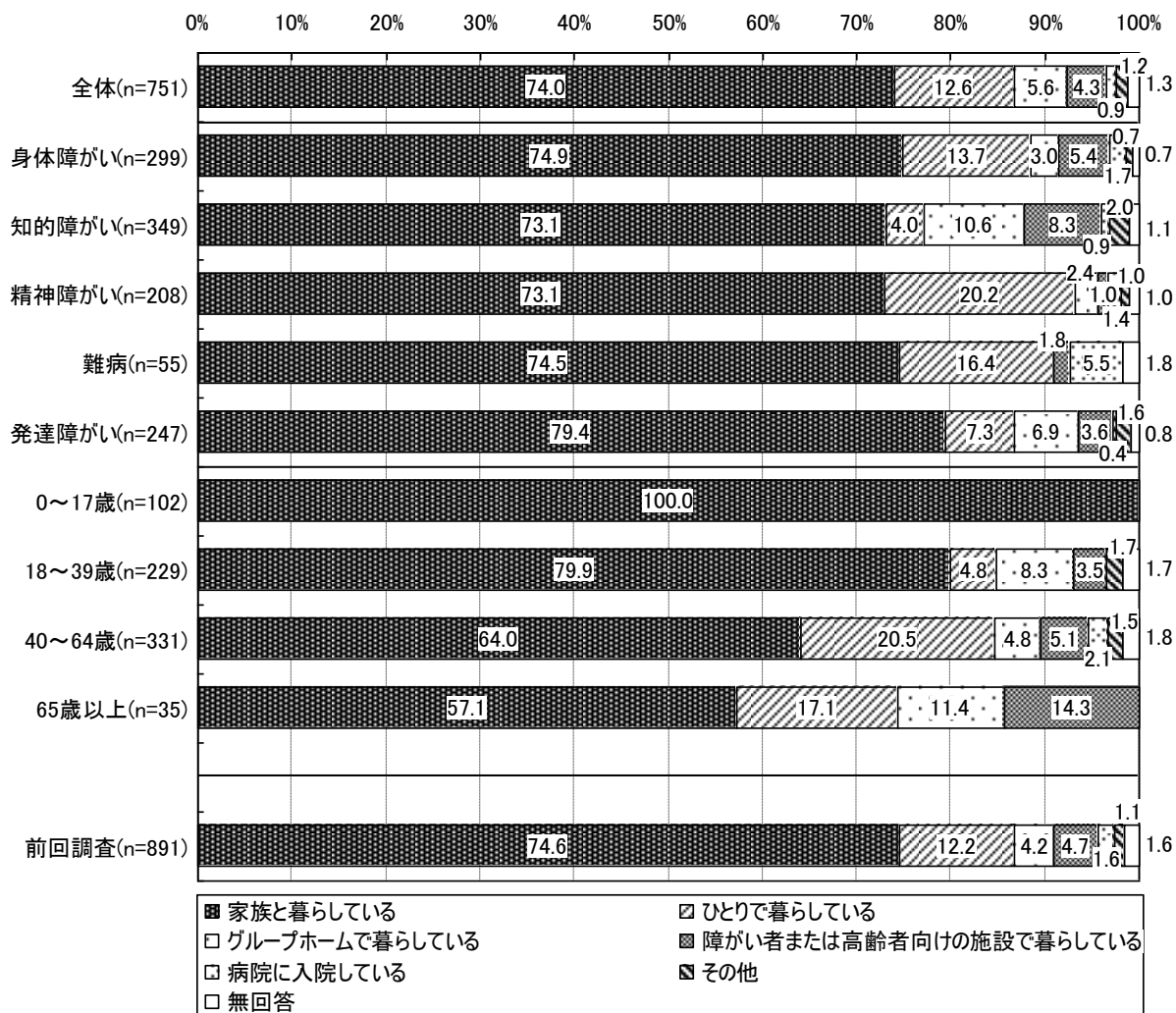
※グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。

※属性別クロス集計のグラフ・集計表には、属性が無回答であったサンプルの集計結果を割愛しています。

主な調査結果

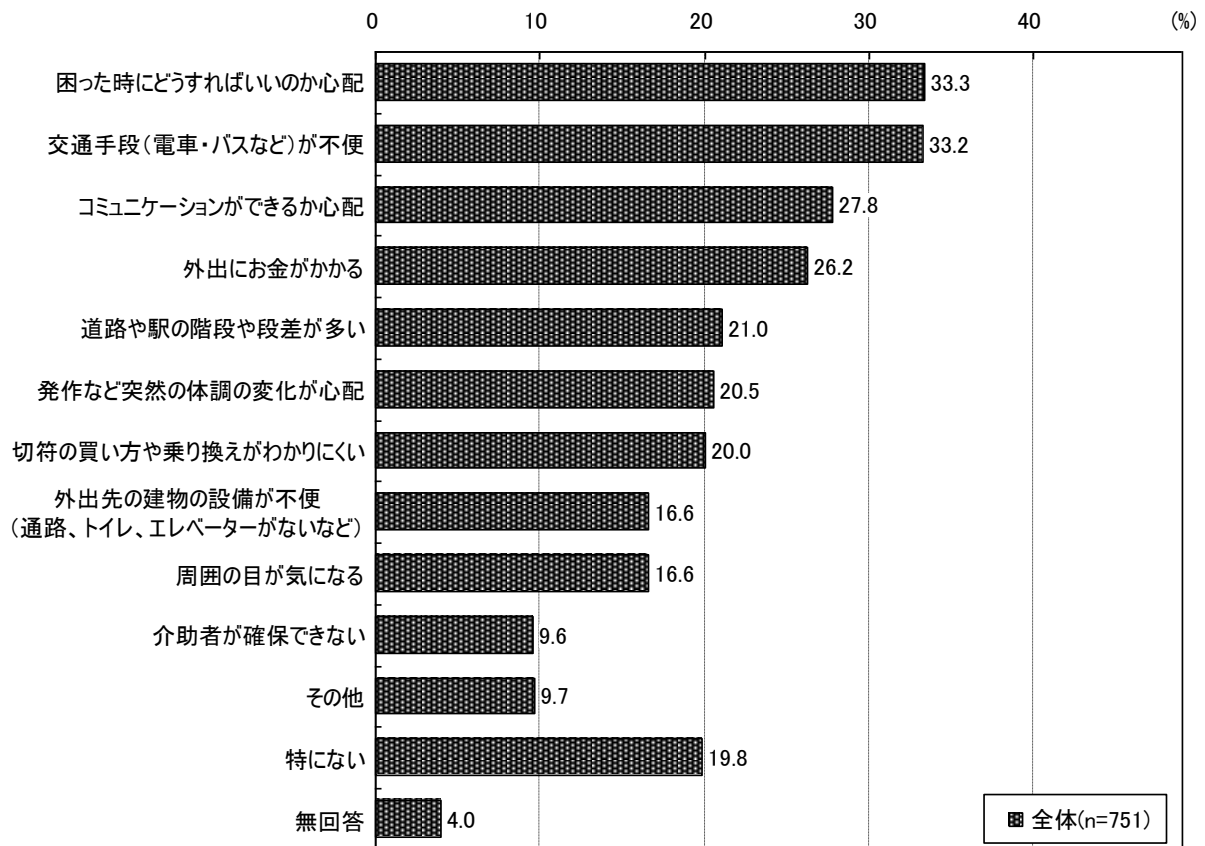
1 日ごろの生活や社会参加について

◆あなたは、今、どのように暮らしていますか。



- ・「家族と暮らしている」が74.0%、「ひとりで暮らしている」が12.6%、「グループホームで暮らしている」が5.6%、「障がい者または高齢者向けの施設で暮らしている」が4.3%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、精神障がいでは「ひとりで暮らしている」が20.2%、知的障がいでは「グループホームで暮らしている」が10.6%とやや多くみられます。
- ・本人の年齢別にみると、年齢が高くなるほど「家族と暮らしている」と答える人が減る傾向にあります。

◆外出するときに困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



- ・「困った時にどうすればいいのか心配」が33.3%、「交通手段（電車・バスなど）が不便」が33.2%、「コミュニケーションができるか心配」が27.8%、「外出にお金がかかる」が26.2%、「道路や駅の階段や段差が多い」が21.0%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、「困った時にどうすればいいのか心配」は発達障がいや知的障がいで、「外出にお金がかかる」は精神障がいで、「コミュニケーションができるか心配」は発達障がいや知的障がいで、「道路や駅の階段や段差が多い」は身体障がいや難病で、「発作など突然の体調の変化が心配」は精神障がいで、「切符の買い方や乗り換えがわかりにくい」は知的障がいで、それぞれ多くみられます。

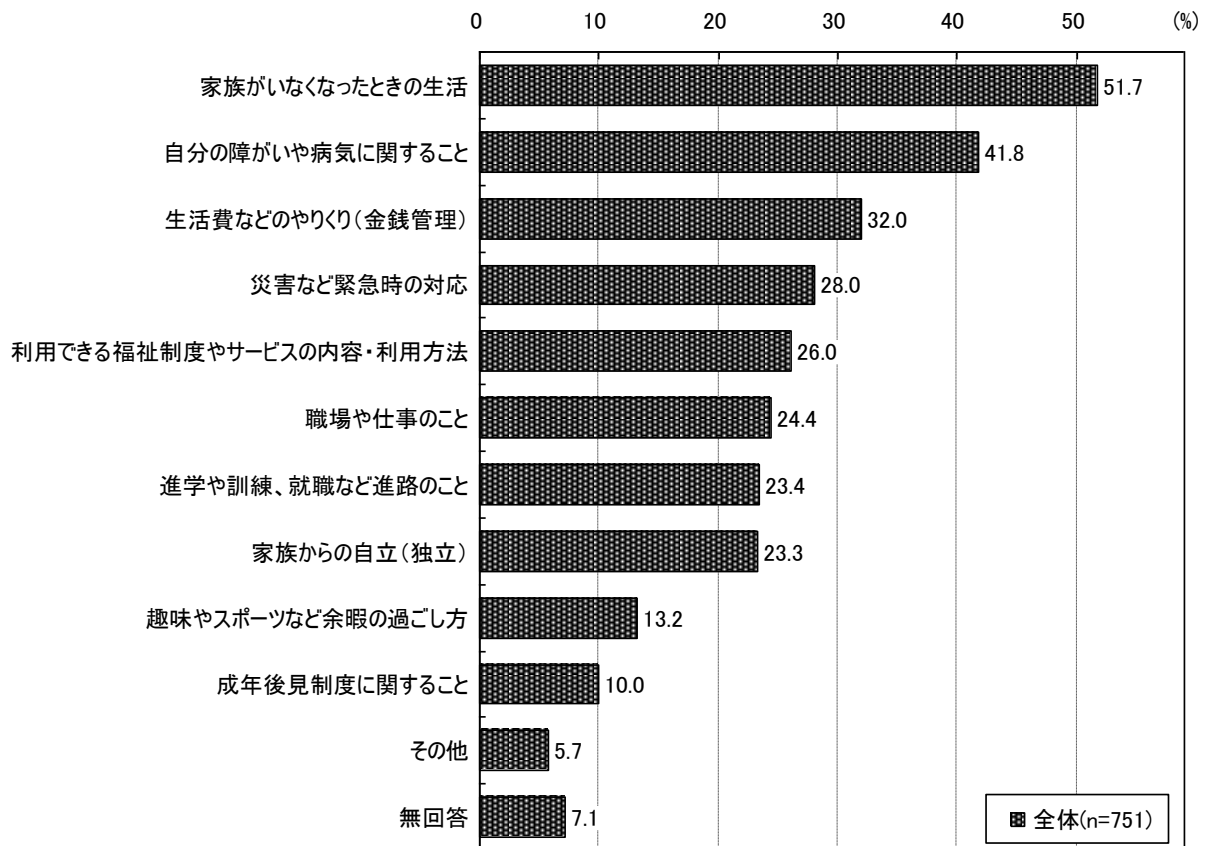
単位：%	全体 (n=751)	身体障がい (n=299)	知的障がい (n=349)	精神障がい (n=208)	難病 (n=55)	発達障がい (n=247)
困った時にどうすればいいのか心配	33.3	22.4	45.3	32.7	16.4	47.0
交通手段（電車・バスなど）が不便	33.2	37.1	33.2	30.3	41.8	27.1
コミュニケーションができるか心配	27.8	17.4	39.0	24.5	9.1	42.5
外出にお金がかかる	26.2	19.4	23.5	37.0	30.9	33.2
道路や駅の階段や段差が多い	21.0	34.8	17.2	15.9	50.9	11.3
発作など突然の体調の変化が心配	20.5	19.7	16.9	30.8	29.1	21.1
切符の買い方や乗り換えがわかりにくい	20.0	13.7	31.5	11.5	7.3	27.9
外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターがないなど）	16.6	28.1	14.9	10.6	43.6	8.5
周囲の目が気になる	16.6	11.0	15.2	25.5	12.7	22.3
介助者が確保できない	9.6	10.4	12.9	4.3	16.4	7.3
その他	9.7	9.7	9.7	10.6	9.1	11.3
特にない	19.8	20.7	16.3	20.2	9.1	16.2
無回答	4.0	4.7	5.4	2.9	9.1	2.8

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=751)	視覚 (n=20)	聴覚・平衡 (n=24)	音声・言語 (n=25)	肢体不自由 (n=156)	内部 (n=48)
困った時にどうすればいいのか心配	33.3	25.0	23.1	28.6	22.5	24.1
交通手段（電車・バスなど）が不便	33.2	70.0	19.2	25.0	42.2	31.5
コミュニケーションができるか心配	27.8	10.0	61.5	39.3	9.8	13.0
外出にお金がかかる	26.2	35.0	19.2	10.7	19.1	18.5
道路や駅の階段や段差が多い	21.0	35.0	19.2	32.1	47.4	24.1
発作など突然の体調の変化が心配	20.5	30.0	15.4	28.6	19.7	24.1
切符の買い方や乗り換えがわかりにくい	20.0	20.0	11.5	21.4	13.3	13.0
外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターがないなど）	16.6	25.0	19.2	14.3	39.3	24.1
周囲の目が気になる	16.6	5.0	3.8	10.7	12.7	7.4
介助者が確保できない	9.6	20.0	0.0	10.7	14.5	11.1
その他	9.7	20.0	11.5	10.7	12.7	3.7
特にない	19.8	20.0	11.5	21.4	13.9	37.0
無回答	4.0	0.0	0.0	3.6	8.1	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの
 ※回答者数が30件を下回る属性の結果は参考値となります

◆今、気にかかっていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



- ・「家族がいなくなったときの生活」が51.7%と最も多く、次いで「自分の障がいや病気に関すること」が41.8%、「生活費などのやりくり(金銭管理)」が32.0%、「災害など緊急時の対応」が28.0%、「利用できる福祉制度やサービスの内容・利用方法」が26.0%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、「家族がいなくなったときの生活」は知的障がいで、「自分の障がいや病気に関すること」は精神障がいや難病で、「生活費などのやりくり(金銭管理)」は精神障がいで、それぞれ多くみられます。
- ・年齢別にみると、「家族がいなくなったときの生活」は18～39歳で62.0%、「災害など緊急時の対応」は65歳以上で42.9%、「進学や訓練、就職など進路のこと」(全体23.4%)は0～17歳で79.4%を占めています。

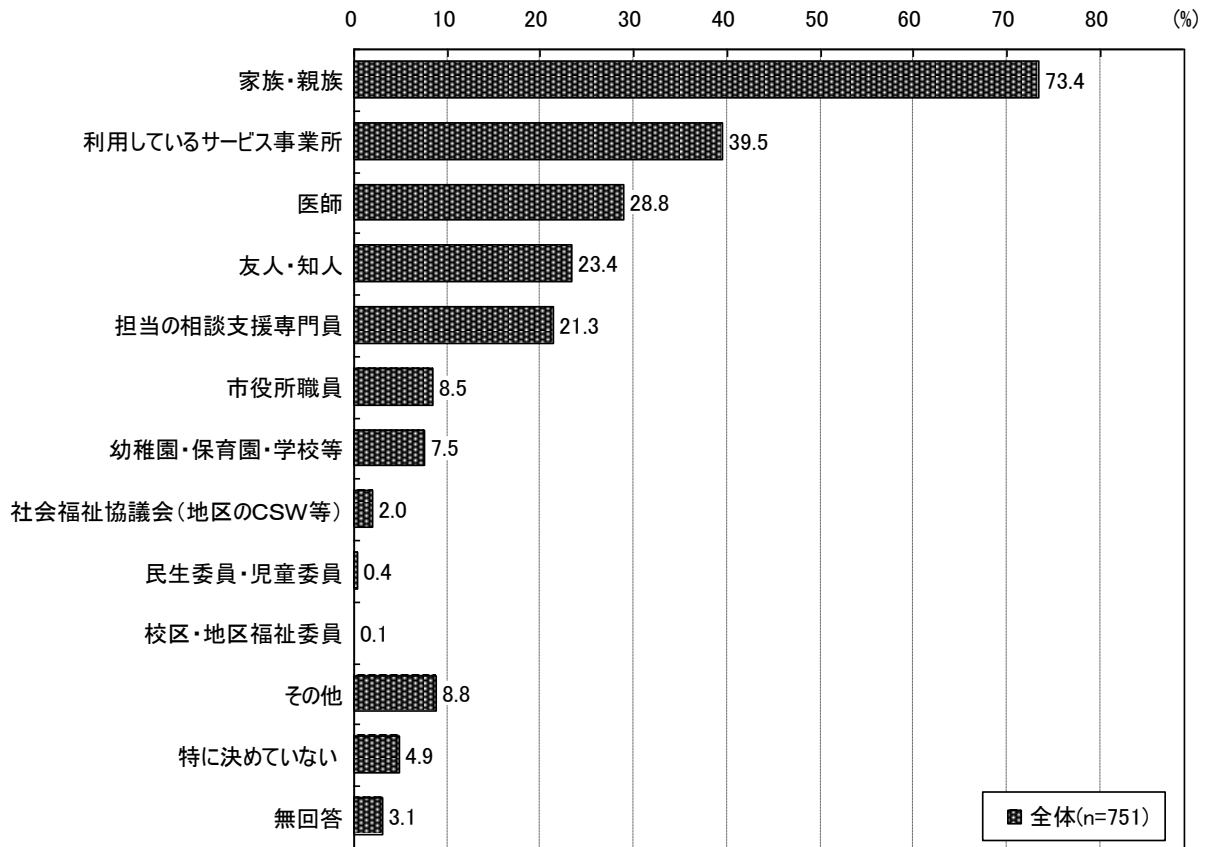
単位：%	全体 (n=751)	身体障がい (n=299)	知的障がい (n=349)	精神障がい (n=208)	難病 (n=55)	発達障がい (n=247)
家族がいなくなったときの生活	51.7	46.2	62.5	52.9	50.9	57.5
自分の障がいや病気に関すること	41.8	45.5	25.5	58.7	58.2	36.0
生活費などのやりくり（金銭管理）	32.0	20.7	30.4	47.6	29.1	38.1
災害など緊急時の対応	28.0	30.4	31.5	23.6	34.5	28.7
利用できる福祉制度やサービスの 内容・利用方法	26.0	27.1	26.6	22.6	32.7	28.3
職場や仕事のこと	24.4	20.4	16.6	35.6	21.8	23.5
進学や訓練、就職など進路のこと	23.4	12.0	25.8	30.8	12.7	40.5
家族からの自立（独立）	23.3	14.7	29.2	26.9	18.2	38.5
趣味やスポーツなど余暇の過ごし方	13.2	6.7	16.3	16.8	10.9	19.8
成年後見制度に関すること	10.0	7.7	17.2	6.3	3.6	15.4
その他	5.7	6.0	4.9	8.2	3.6	6.5
無回答	7.1	9.4	7.7	1.9	10.9	3.6

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=751)	0歳～17歳 (n=102)	18歳～39歳 (n=229)	40歳～64歳 (n=331)	65歳以上 (n=35)
家族がいなくなったときの生活	51.7	50.0	62.0	44.7	54.3
自分の障がいや病気に関すること	41.8	33.3	31.4	50.8	45.7
生活費などのやりくり（金銭管理）	32.0	17.6	41.0	30.5	22.9
災害など緊急時の対応	28.0	28.4	30.6	25.4	42.9
利用できる福祉制度やサービスの 内容・利用方法	26.0	32.4	23.6	26.9	25.7
職場や仕事のこと	24.4	7.8	29.3	26.6	5.7
進学や訓練、就職など進路のこと	23.4	79.4	24.5	9.4	0.0
家族からの自立（独立）	23.3	32.4	34.9	12.7	11.4
趣味やスポーツなど余暇の過ごし方	13.2	17.6	18.3	9.4	8.6
成年後見制度に関すること	10.0	13.7	10.5	7.6	14.3
その他	5.7	2.9	3.9	7.6	11.4
無回答	7.1	2.9	6.1	8.5	2.9

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆困りごとや不安に思っていることを相談するのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



- ・「家族・親族」が73.4%と最も多く、次いで「利用しているサービス事業所」が39.5%、「医師」が28.8%、「友人・知人」が23.4%、「担当の相談支援専門員」が21.3%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、「利用しているサービス事業所」は発達障がいや知的障がいで、「医師」が精神障がいで、それぞれ多くみられます。
- ・年齢別にみると、0～17歳で「利用しているサービス事業所」が55.9%、「幼稚園・保育園・学校等」が52.0%となっています。

単位：%	全体 (n=751)	身体障がい (n=299)	知的障がい (n=349)	精神障がい (n=208)	難病 (n=55)	発達障がい (n=247)
家族・親族	73.4	72.9	73.9	71.2	70.9	74.9
利用しているサービス事業所	39.5	26.1	51.0	39.9	36.4	52.2
医師	28.8	26.4	20.3	45.7	36.4	28.7
友人・知人	23.4	26.8	14.3	29.8	25.5	20.6
担当の相談支援専門員	21.3	17.7	29.5	21.6	21.8	31.2
市役所職員	8.5	8.0	9.5	9.1	12.7	10.1
幼稚園・保育園・学校等	7.5	3.7	10.6	6.3	3.6	15.4
社会福祉協議会（地区のCSW等）	2.0	1.3	2.0	1.9	1.8	2.8
民生委員・児童委員	0.4	0.3	0.3	1.0	0.0	0.0
校区・地区福祉委員	0.1	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0
その他	8.8	7.4	7.7	13.5	9.1	10.5
特に決めていない	4.9	7.0	3.2	5.3	3.6	2.8
無回答	3.1	4.0	3.7	1.9	9.1	2.0

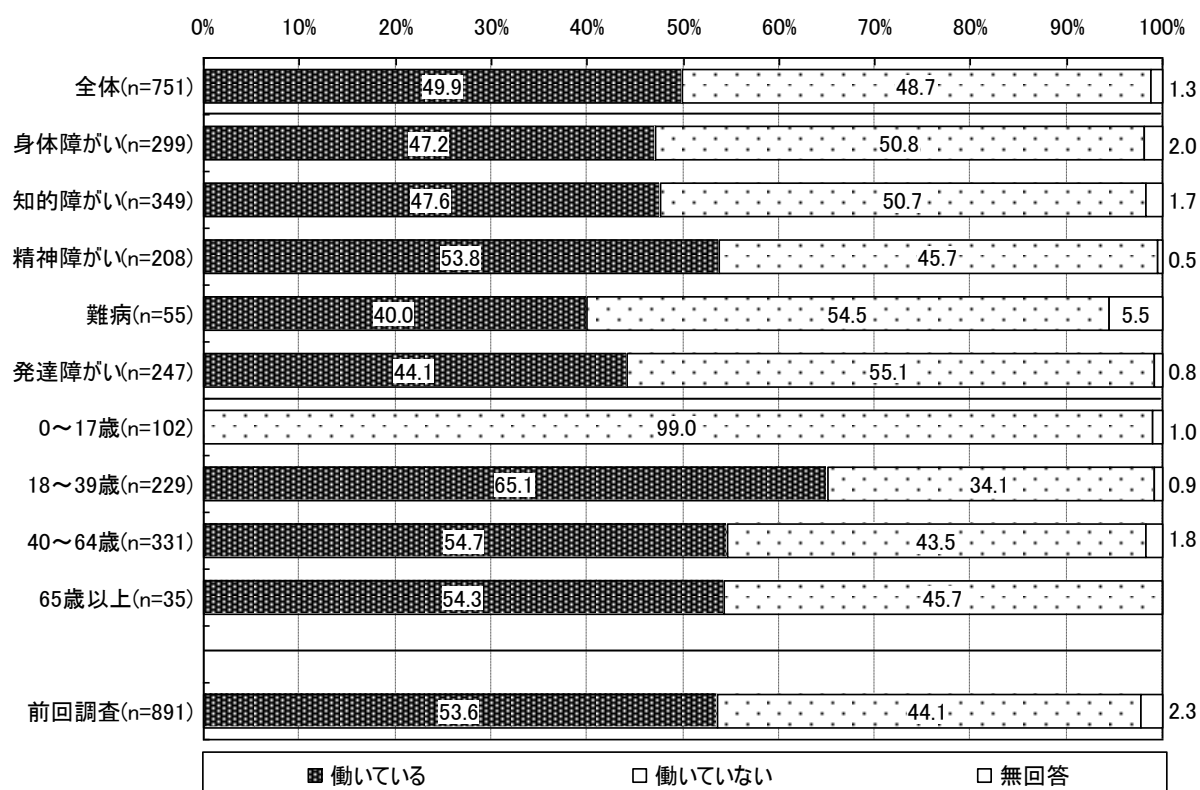
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=751)	0歳～17歳 (n=102)	18歳～39歳 (n=229)	40歳～64歳 (n=331)	65歳以上 (n=35)
家族・親族	73.4	77.5	76.9	71.0	62.9
利用しているサービス事業所	39.5	55.9	44.1	32.3	45.7
医師	28.8	22.5	30.1	30.2	28.6
友人・知人	23.4	20.6	24.9	26.0	5.7
担当の相談支援専門員	21.3	23.5	25.3	17.8	28.6
市役所職員	8.5	2.0	10.9	8.5	20.0
幼稚園・保育園・学校等	7.5	52.0	1.3	0.0	0.0
社会福祉協議会（地区のCSW等）	2.0	0.0	2.2	2.4	5.7
民生委員・児童委員	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0
校区・地区福祉委員	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.8	2.9	7.4	10.9	20.0
特に決めていない	4.9	0.0	5.2	5.7	2.9
無回答	3.1	2.0	2.6	3.9	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

2 働くことについて

◆あなたは現在、働いていますか。(1つに○)



- ・「働いている」が49.9%、「働いていない」が48.7%と大きく二分されます。
- ・障がい種別や年齢別にみると、精神障がいや18～39歳で「働いている」と答えた人が多くみられます。

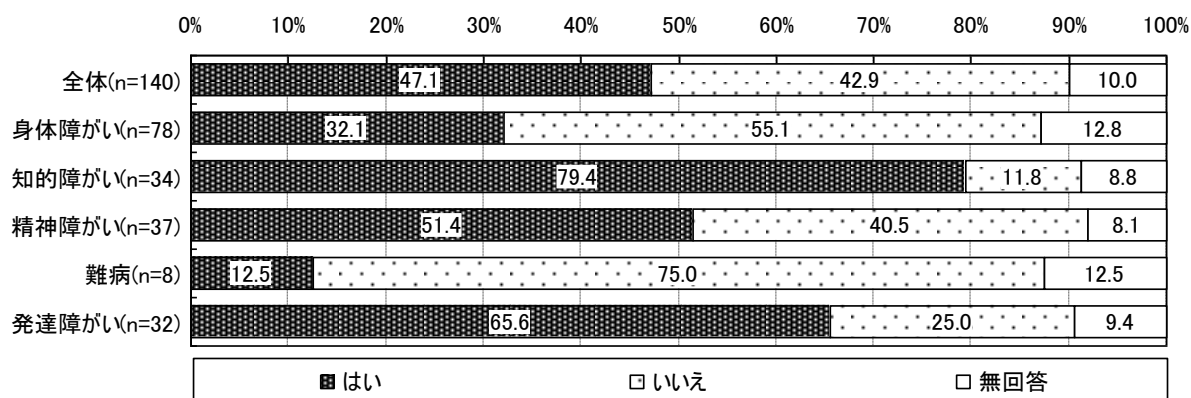
◆あなたの仕事の形態や場所は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

単位：%	全体 (n=375)	身体障がい (n=141)	知的障がい (n=166)	精神障がい (n=112)	難病 (n=22)	発達障がい (n=109)
作業所など通所施設	57.6	38.3	77.1	59.8	63.6	65.1
パート・アルバイト	17.6	17.0	13.9	23.2	13.6	18.3
会社の正社員(役員を含む)	14.7	31.2	3.6	5.4	18.2	6.4
会社の契約社員	5.3	7.1	3.6	4.5	4.5	4.6
自営	2.1	5.0	0.0	0.9	0.0	0.9
内職	1.3	0.7	0.0	3.6	0.0	2.8
その他	3.5	2.1	3.0	5.4	0.0	3.7
無回答	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.9

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

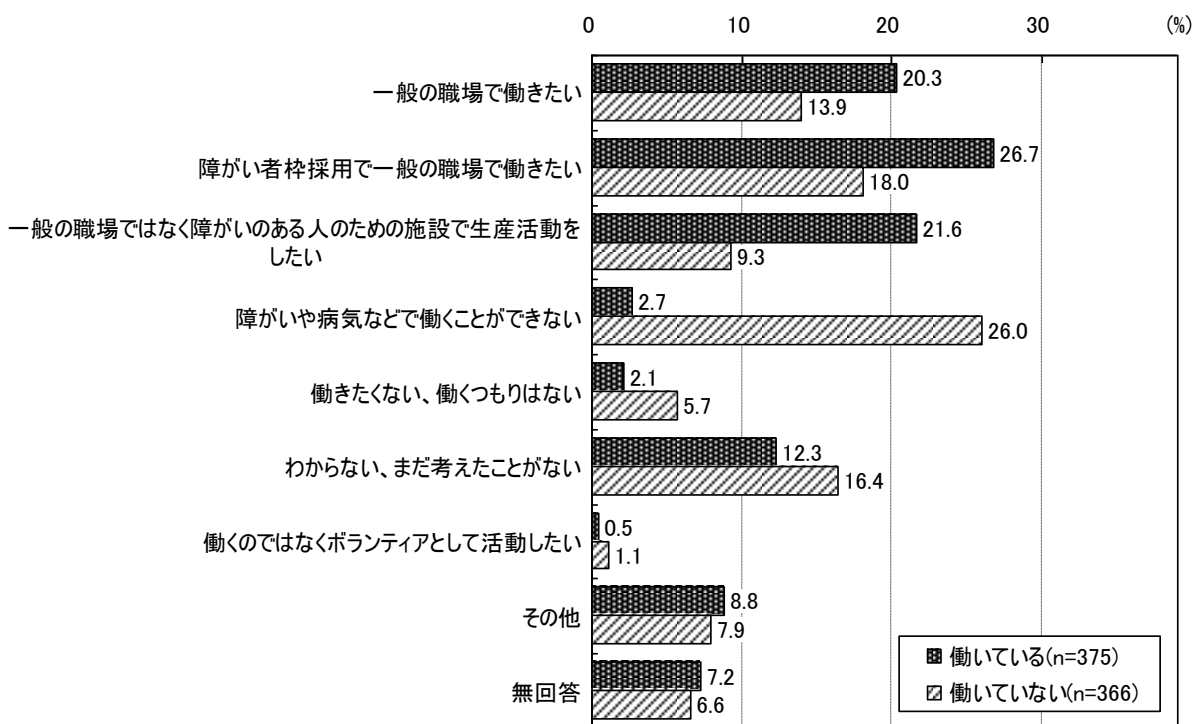
- ・「作業所など通所施設」が57.6%を占めており、知的障がいで77.1%となっています。
- ・これに次いで「パート・アルバイト」が17.6%、「会社の正社員(役員を含む)」が14.7%となっており、後者は身体障がいで31.2%となっています。

◆障がい者枠での採用ですか。



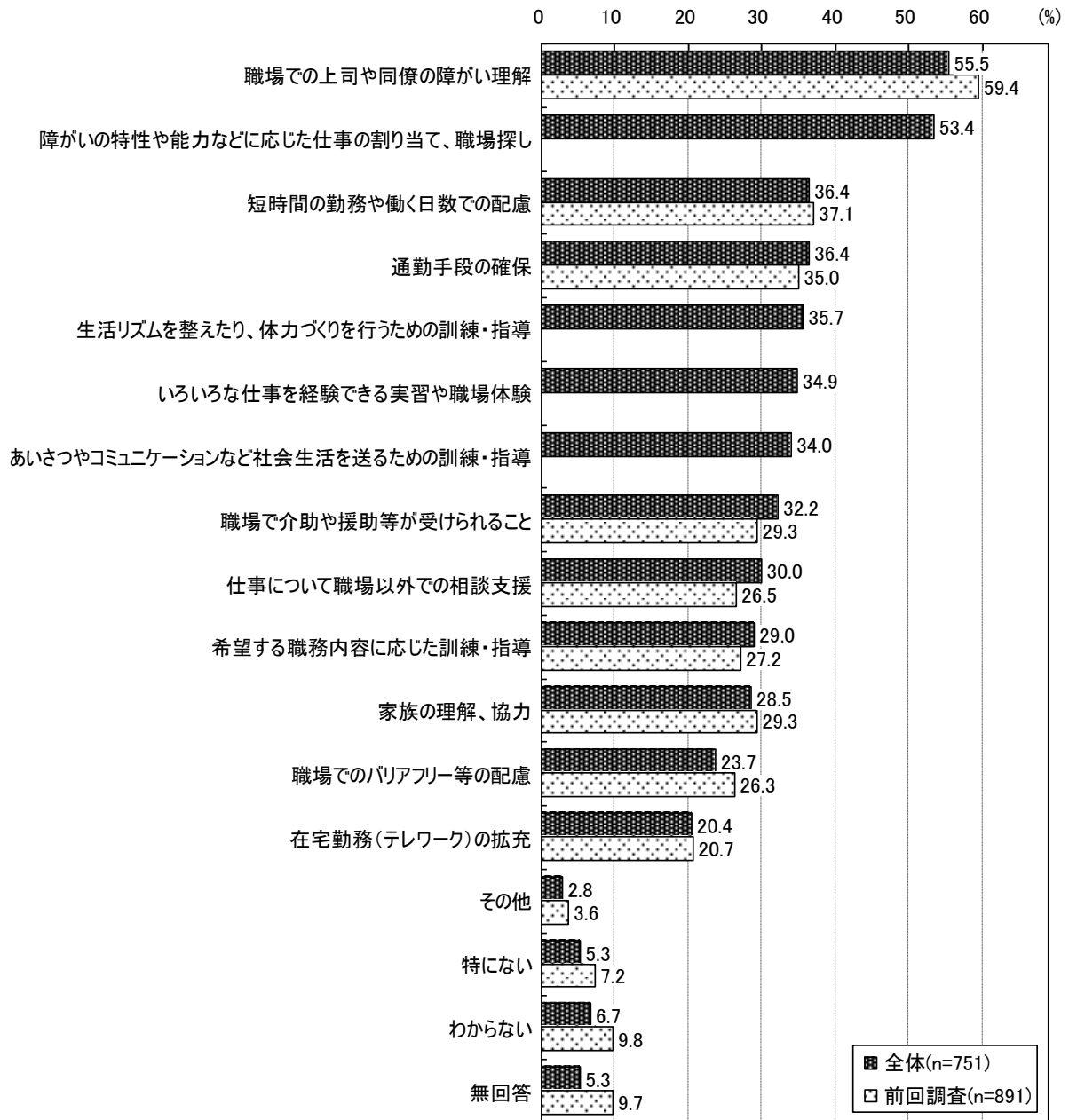
※「会社の正社員（役員を含む）」「会社の契約社員」「パート・アルバイト」と答えた人のうち、障がい者枠での採用という人は47.1%で、知的障がいで79.4%、発達障がいで65.6%を占めています。

◆今後、働くことについて、どのように考えていますか。現在すでに働いている人も望ましいと思う働き方を選んでください。（1つに○）



- ・現在働いている人では、「障がい者枠採用で一般の職場で働きたい」が26.7%と最も多く、次いで「一般の職場ではなく障がいのある人のための施設で生産活動をしたい」が21.6%、「一般の職場で働きたい」が20.3%となっています。
- ・働いていない人では、「障がいや病気などで働くことができない」が26.0%と最も多く、次いで「障がい者枠採用で一般の職場で働きたい」が18.0%、「わからない、まだ考えたことがない」が16.4%、「一般の職場で働きたい」が13.9%となっています。

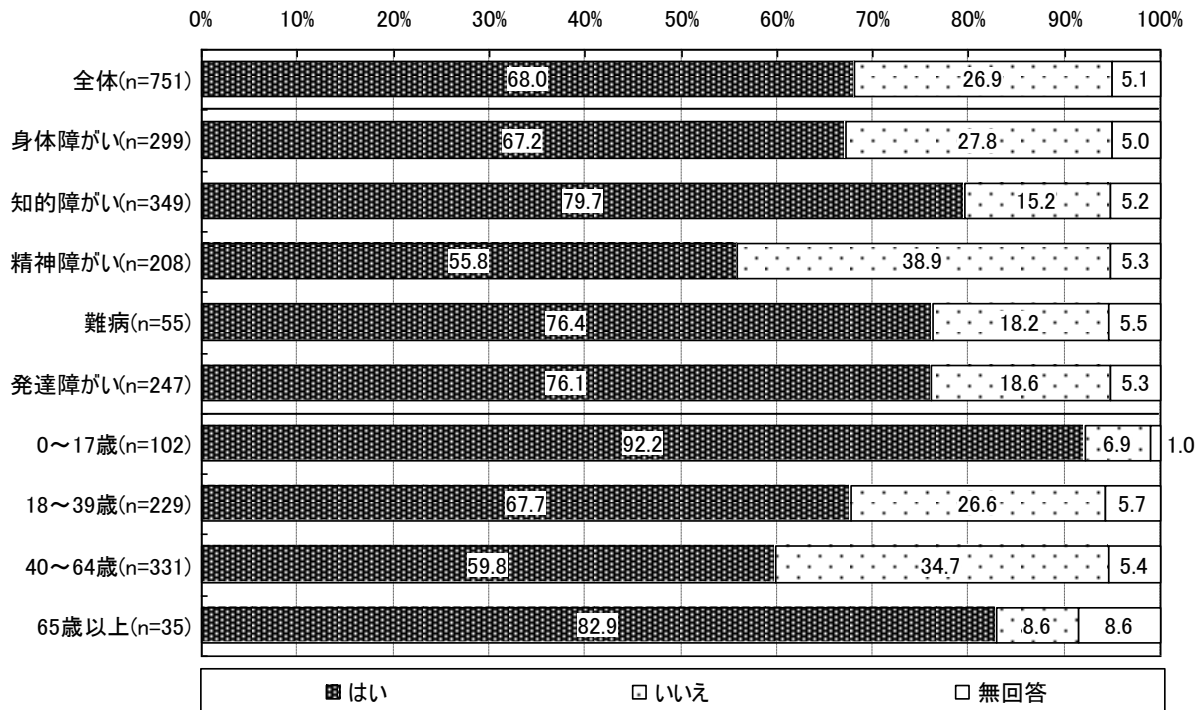
◆障がい者が就労する上でどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



・「職場での上司や同僚の障がい理解」が55.5%と最も多く、次いで「障がいの特性や能力などに応じた仕事の割り当て、職場探し」が53.4%、「短時間の勤務や働く日数での配慮」と「通勤手段の確保」がそれぞれ36.4%、「生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導」が35.7%、「いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験」が34.9%、「あいさつやコミュニケーションなど社会生活を送るための訓練・指導」が34.0%などとなっています。

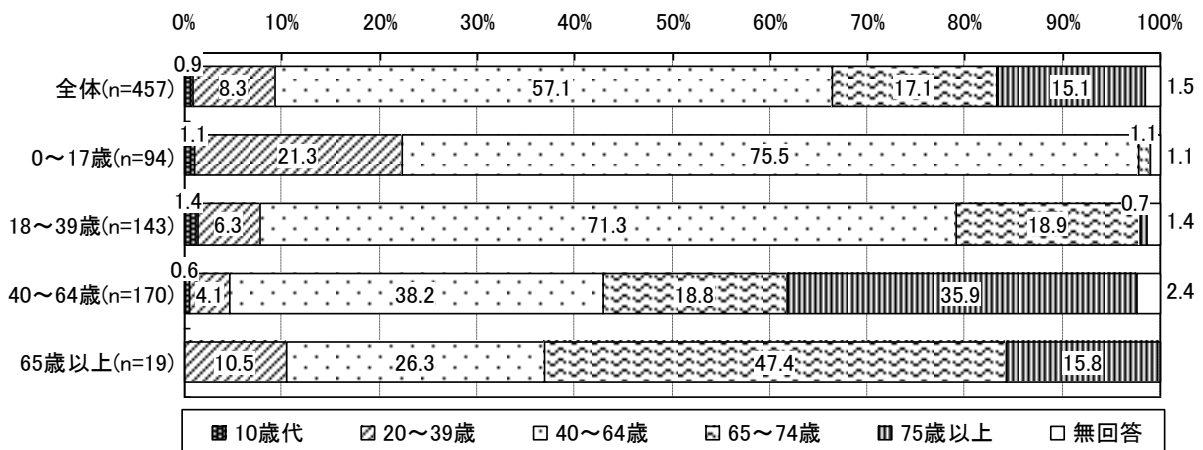
3 在宅時の介助について

◆あなたには在宅生活を支援してくれる介助者がいますか。(1つに○)



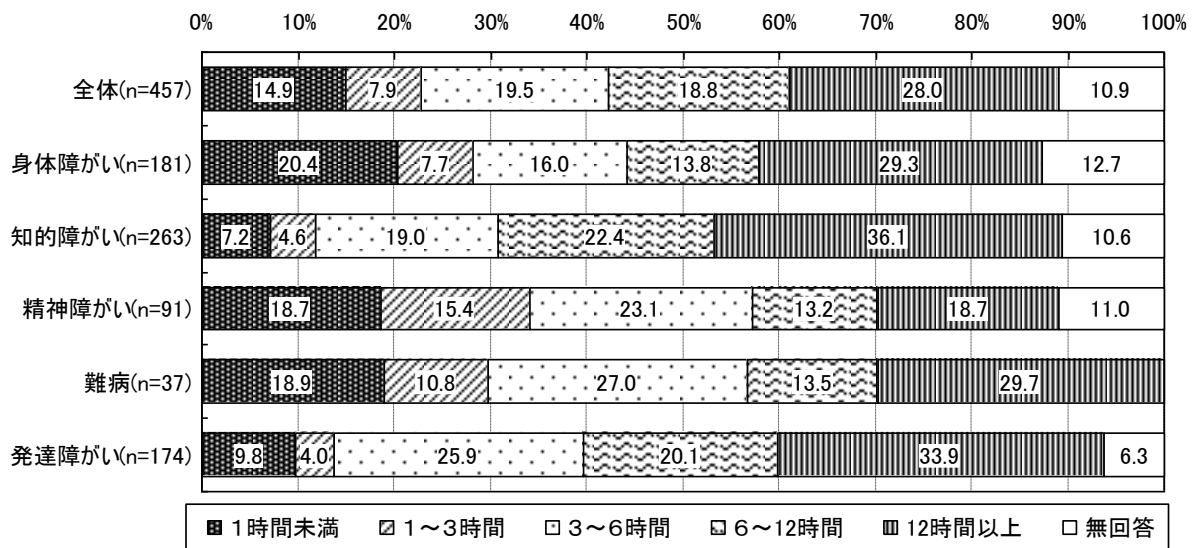
・介助者がいる人(「はい」と回答)は68.0%で、知的障がいや難病、発達障がいでは76.1~79.7%、年齢別には0~17歳で92.2%、65歳以上で82.9%を占めています。

◆介助者の年齢をおうかがいします。(令和5年7月1日現在)(1つに○)



・介助者の年齢は、「40~64歳」が57.1%、「65~74歳」が17.1%、「75歳以上」が15.1%となっており、本人の年齢が40~64歳で介助者の年齢が65歳以上の人は54.7%、本人の年齢が65歳以上で介助者の年齢が65歳以上の人は63.2%となっています。

◆ 1日平均何時間ぐらい介助や見守りを受けていますか。(1つに○)



- ・ 介助や見守りを受けている時間は1日平均「12時間以上」が28.0%と最も多く、次いで「3～6時間」が19.5%、「6～12時間」が18.8%となっています。
- ・ 障がい種別ごとにみると、「12時間以上」は知的障がいで36.1%、発達障がいで33.9%と多くみられます。

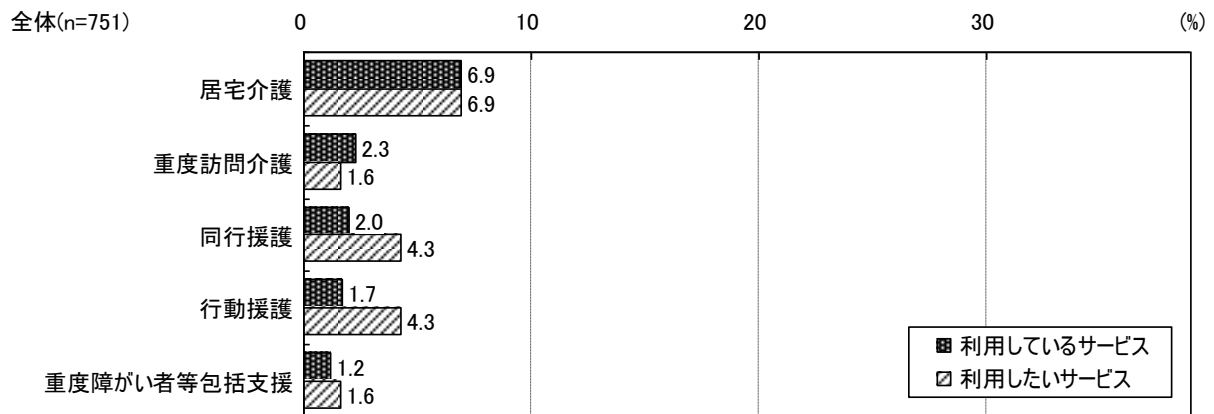
4 福祉サービスについて

◆あなたは次の福祉サービスや障がい児通所サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

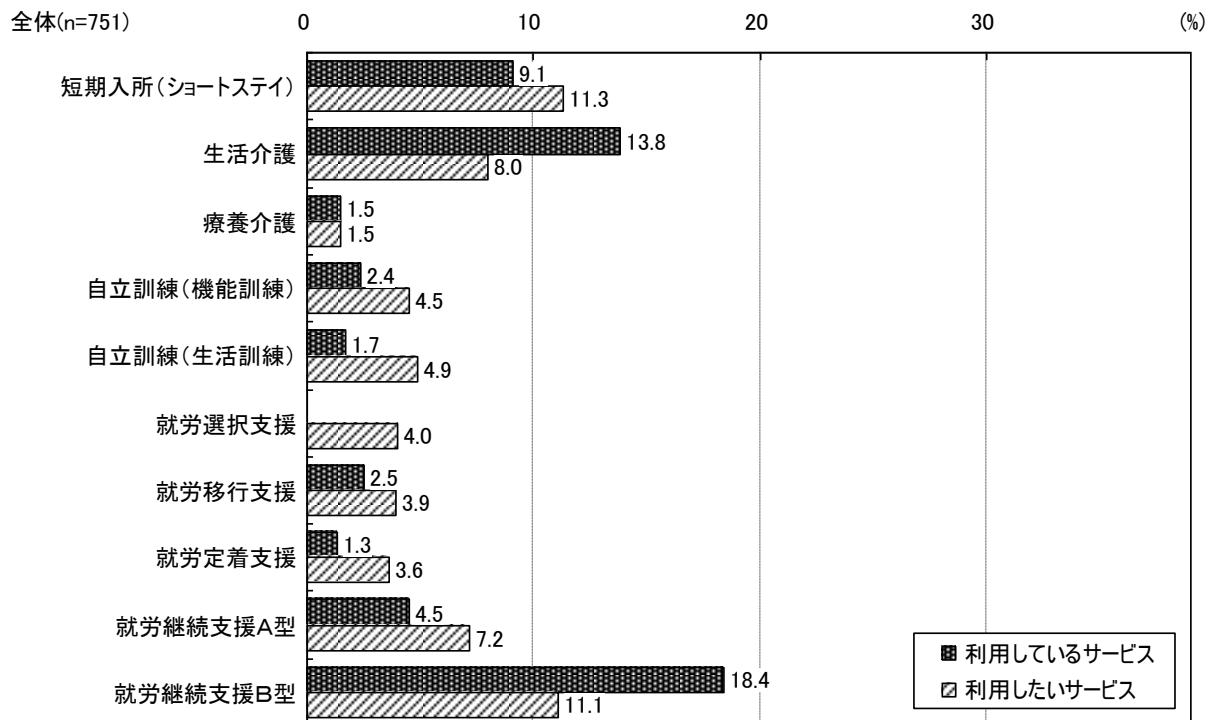
◆今後3年以内を目安に利用したいと思う福祉サービスや障がい児通所サービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

・現在利用しているサービス、今後3年以内を目安に利用したいと思うサービスをサービス種別ごとにみると、以下の通りとなっています。

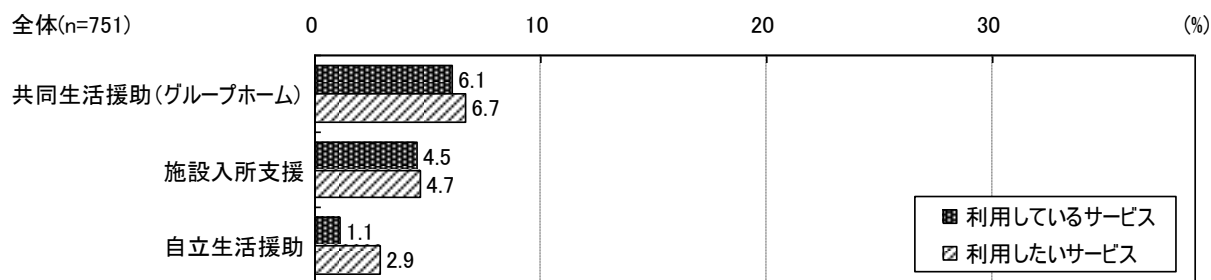
【訪問系サービス】



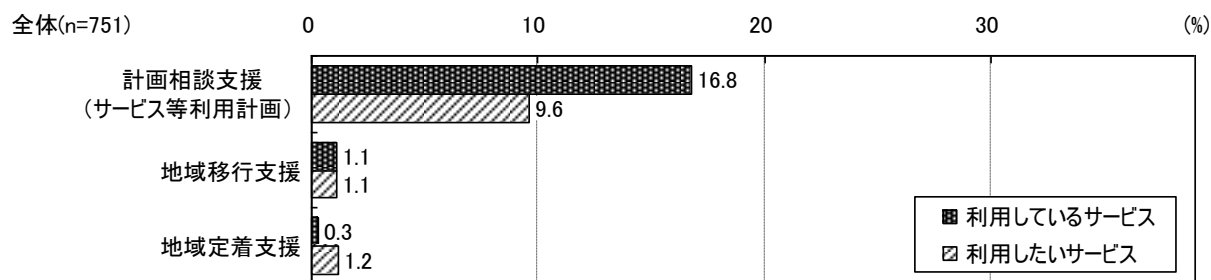
【短期入所・日中活動系サービス】



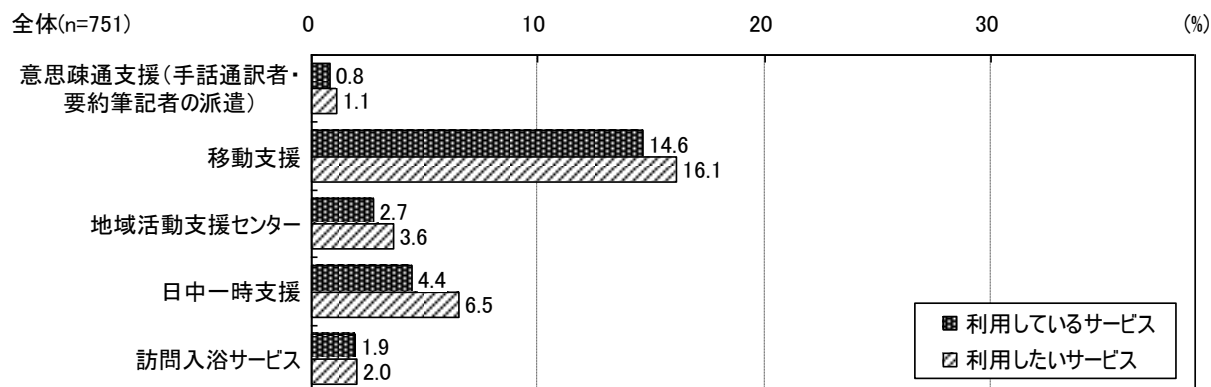
【居住系サービス】



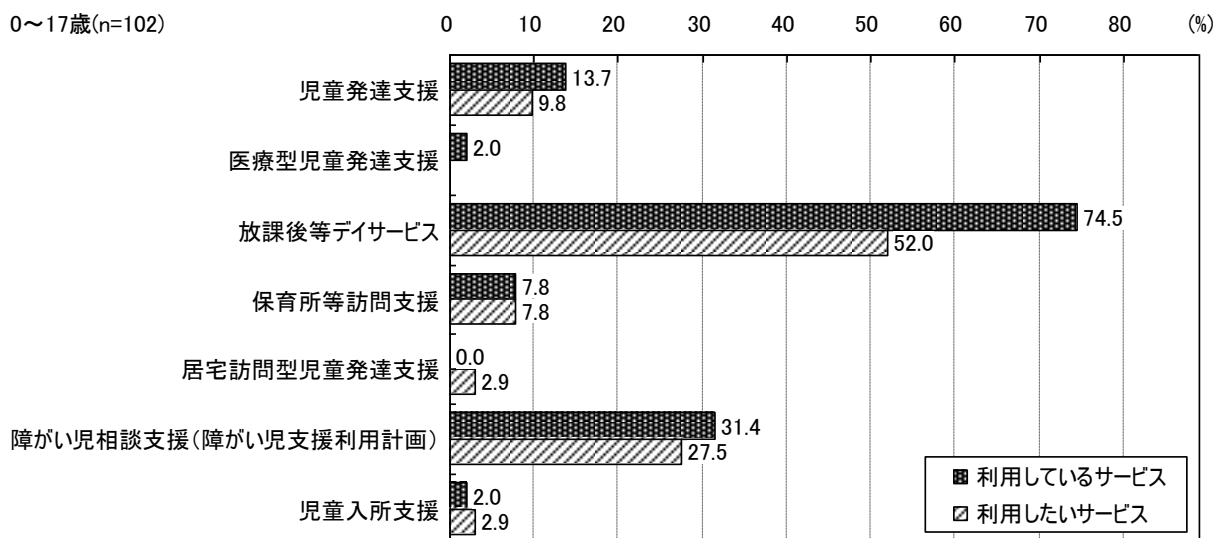
【相談支援】



【地域生活支援事業】



【障がい児支援サービス】



◆福祉サービスや障がい児通所サービスを利用するときには何か困ること（困ったこと）
がありますか。（あてはまるものすべてに○）

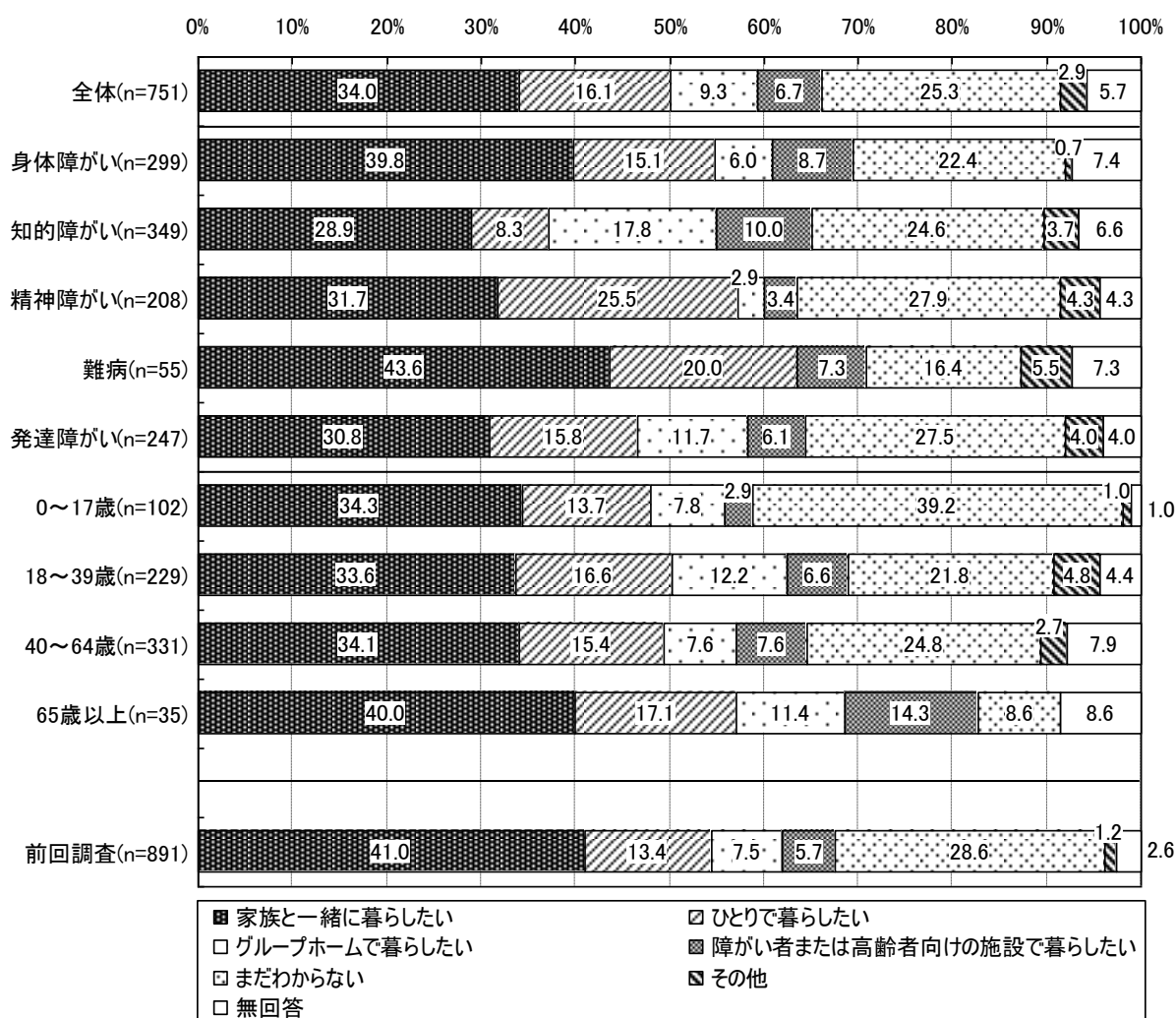
単位：%	全体 (n=751)	訪問系サ ービス (n=86)	短期入所 (n=68)	日中活動系 サービス (n=318)	居住系サ ービス (n=80)	相談支援 (n=129)	地域生活 支援事業 (n=151)	障がい児支 援サービス (n=104)
どの事業者が良いのかわからない	23.7	26.7	30.9	30.5	25.0	30.2	30.5	40.4
どんなサービスがあるのか知らない	17.4	14.0	11.8	19.8	10.0	17.8	16.6	15.4
事業者情報が不十分	15.6	16.3	17.6	22.0	16.3	18.6	21.2	22.1
利用できる事業所が少ない	12.5	27.9	30.9	17.9	12.5	17.8	17.9	13.5
費用負担があるため、サービスが使いづらい	7.5	12.8	14.7	8.8	12.5	7.8	10.6	10.6
使いたいサービスが使えなかった	6.5	12.8	13.2	9.1	16.3	10.9	14.6	6.7
利用してトラブルがあった	5.6	17.4	13.2	8.5	3.8	12.4	9.3	6.7
契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）	5.2	7.0	10.3	7.2	10.0	10.9	6.0	2.9
サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	4.8	10.5	8.8	6.6	8.8	8.5	9.9	1.9
補装具、日常生活用具の補助額では不十分	3.7	7.0	5.9	3.8	8.8	4.7	4.6	5.8
その他	6.1	14.0	7.4	6.9	5.0	10.1	9.3	6.7
困ることはない	13.4	14.0	11.8	14.8	17.5	13.2	12.6	23.1
わからない	11.5	3.5	2.9	11.9	11.3	8.5	7.9	3.8
無回答	23.0	15.1	13.2	11.3	13.8	12.4	11.9	5.8

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

- ・「困ることはない」「わからない」と無回答を除いて、何らかの内容でサービスを利用するときに困ることがあるという人は52.1%で、内容別には「どの事業者が良いのかわからない」が23.7%、「どんなサービスがあるのか知らない」が17.4%、「事業者情報が不十分」15.6%、「利用できる事業所が少ない」が12.5%などとなっています。
- ・サービス種別ごとに見ると、障がい児支援サービスを利用している人で「どの事業者が良いのかわからない」が40.4%となっているほか、短期入所や訪問系サービスを利用している人で「利用できる事業所が少ない」、訪問系サービスを利用している人で「利用してトラブルがあった」がそれぞれ多くみられます。

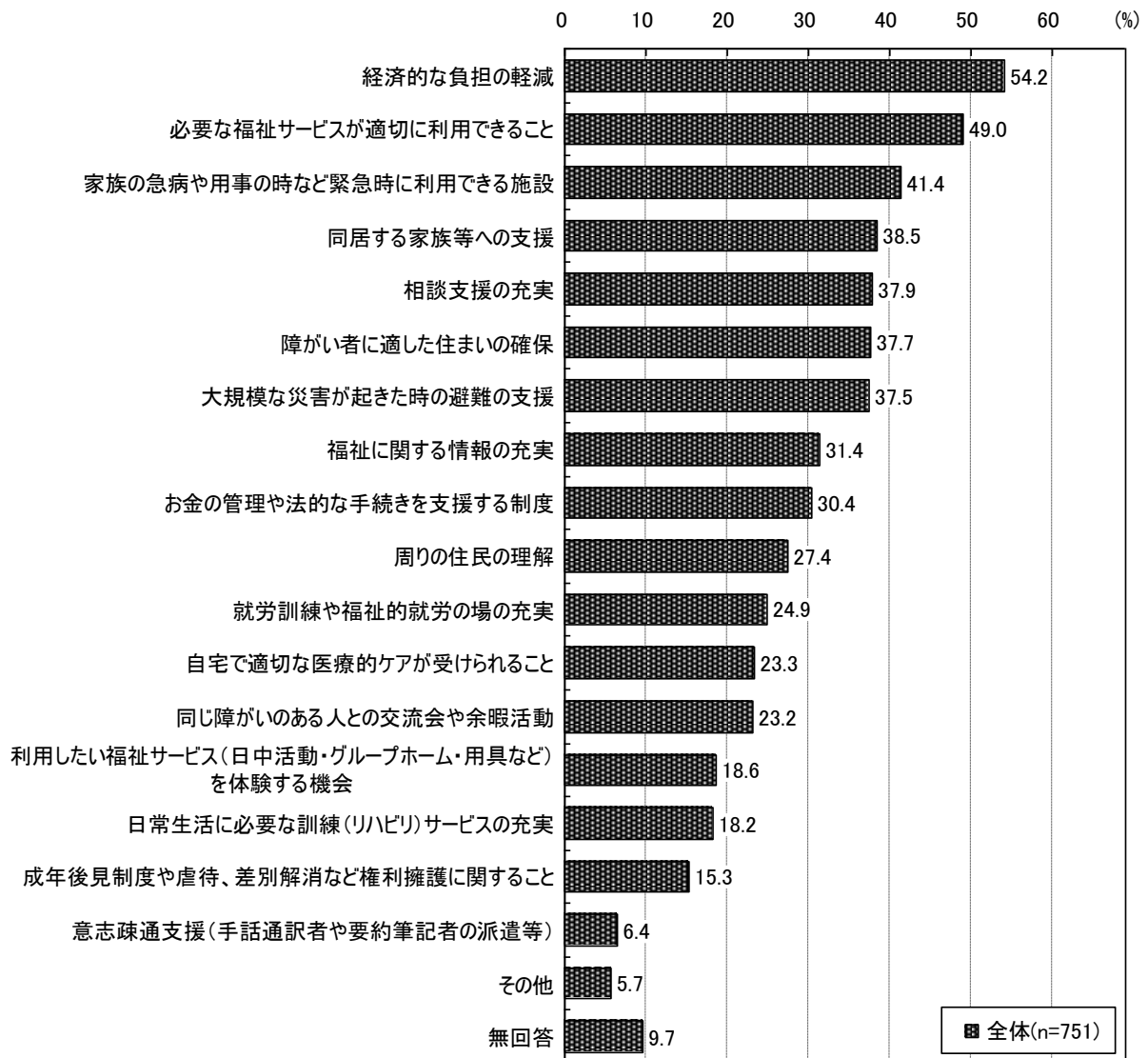
5 地域での生活について

◆あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(1つに○)



- ・「家族と一緒に暮らしたい」が34.0%と最も多く、次いで「まだわからない」が25.3%、「ひとりで暮らしたい」が16.1%、「グループホームで暮らしたい」が9.3%、「障がい者または高齢者向けの施設で暮らしたい」が6.7%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、「家族と一緒に暮らしたい」に次いで、精神障がいでは「ひとりで暮らしたい」が25.5%、知的障がいでは「グループホームで暮らしたい」が17.8%と多くみられます。
- ・本人の年齢別にみると、0~17歳では「まだわからない」が39.2%と多く、年齢が高くなるほど「障がい者または高齢者向けの施設で暮らしたい」と答える人が増える傾向にあります。

◆あなたが住み慣れた地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



- ・「経済的な負担の軽減」が54.2%と最も多く、次いで「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が49.0%、「家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設」が41.4%、「同居する家族等への支援」が38.5%、「相談支援の充実」が37.9%、「障がい者に適した住まいの確保」が37.7%、「大規模な災害が起きた時の避難の支援」が37.5%などとなっています。
- ・障がい種別ごとにみると、「家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設」は難病で、「お金の管理や法的な手続きを支援する制度」は発達障がいや知的障がいで、「就労訓練や福祉的就労の場の充実」は発達障がいで、「自宅で適切な医療的ケアが受けられること」や「日常生活に必要な訓練(リハビリ)サービスの充実」は難病で、それぞれ多くみられます。
- ・年齢別にみると、0～17歳で多くの項目が全体平均値より割合が高くなっています。

単位：%	全体 (n=751)	身体障がい (n=299)	知的障がい (n=349)	精神障がい (n=208)	難病 (n=55)	発達障がい (n=247)
経済的な負担の軽減	54.2	52.5	49.9	61.5	52.7	60.7
必要な福祉サービスが適切に利用できること	49.0	48.2	50.1	49.0	45.5	57.1
家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設	41.4	40.8	50.4	36.5	52.7	48.2
同居する家族等への支援	38.5	40.1	43.3	32.2	43.6	44.5
相談支援の充実	37.9	28.1	40.4	44.7	21.8	47.4
障がい者に適した住まいの確保	37.7	38.5	40.7	37.5	30.9	41.7
大規模な災害が起きた時の避難の支援	37.5	38.8	41.8	34.6	43.6	40.5
福祉に関する情報の充実	31.4	28.1	32.7	34.6	23.6	35.6
お金の管理や法的な手続きを支援する制度	30.4	19.4	40.4	31.3	30.9	42.1
周りの住民の理解	27.4	22.4	35.2	25.5	12.7	36.8
就労訓練や福祉的就労の場の充実	24.9	14.4	26.4	32.2	16.4	35.6
自宅で適切な医療的ケアが受けられること	23.3	32.1	15.2	26.9	38.2	15.0
同じ障がいのある人との交流会や余暇活動	23.2	17.1	26.4	29.3	12.7	29.1
利用したい福祉サービス（日中活動・グループホーム・用具など）を体験する機会	18.6	12.0	24.6	21.2	10.9	27.1
日常生活に必要な訓練（リハビリ）サービスの充実	18.2	25.8	18.9	16.3	30.9	15.4
成年後見制度や虐待、差別解消など権利擁護に関すること	15.3	10.4	21.5	13.5	16.4	22.3
意志疎通支援（手話通訳者や要約筆記者の派遣等）	6.4	6.4	5.7	5.8	1.8	8.5
その他	5.7	4.0	5.2	8.2	7.3	9.3
無回答	9.7	9.4	10.3	7.7	14.5	5.7

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=751)	視覚 (n=20)	聴覚・平衡 (n=24)	音声・言語 (n=25)	肢体不自由 (n=156)	内部 (n=48)
経済的な負担の軽減	54.2	70.0	50.0	39.3	48.6	55.6
必要な福祉サービスが適切に利用できること	49.0	60.0	42.3	39.3	52.6	50.0
家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設	41.4	30.0	30.8	50.0	48.6	42.6
同居する家族等への支援	38.5	50.0	11.5	39.3	39.9	55.6
相談支援の充実	37.9	25.0	15.4	14.3	30.6	31.5
障がい者に適した住まいの確保	37.7	55.0	42.3	35.7	38.2	40.7
大規模な災害が起きた時の避難の支援	37.5	35.0	46.2	35.7	45.1	29.6
福祉に関する情報の充実	31.4	35.0	30.8	21.4	27.7	25.9
お金の管理や法的な手続きを支援する制度	30.4	25.0	19.2	14.3	20.8	16.7
周りの住民の理解	27.4	20.0	42.3	17.9	20.8	22.2
就労訓練や福祉的就労の場の充実	24.9	25.0	3.8	17.9	12.7	16.7
自宅で適切な医療的ケアが受けられること	23.3	30.0	26.9	39.3	32.9	40.7
同じ障がいのある人との交流会や余暇活動	23.2	15.0	23.1	25.0	14.5	16.7
利用したい福祉サービス（日中活動・グループホーム・用具など）を体験する機会	18.6	5.0	7.7	3.6	13.9	11.1
日常生活に必要な訓練（リハビリ）サービスの充実	18.2	15.0	19.2	35.7	32.9	20.4
成年後見制度や虐待、差別解消など権利擁護に関すること	15.3	5.0	11.5	17.9	12.1	3.7
意志疎通支援（手話通訳者や要約筆記者の派遣等）	6.4	0.0	42.3	7.1	4.6	0.0
その他	5.7	5.0	0.0	3.6	3.5	5.6
無回答	9.7	0.0	7.7	10.7	9.8	11.1

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの
※回答者数が30件を下回る属性の結果は参考値となります

単位：%	全体 (n=751)	0歳～17歳 (n=102)	18歳～39歳 (n=229)	40歳～64歳 (n=331)	65歳以上 (n=35)
経済的な負担の軽減	54.2	66.7	54.1	53.5	45.7
必要な福祉サービスが適切に利用できること	49.0	64.7	45.0	45.3	57.1
家族の急病や用事の時など緊急時に利用できる施設	41.4	62.7	38.4	39.3	40.0
同居する家族等への支援	38.5	54.9	41.5	35.0	28.6
相談支援の充実	37.9	50.0	37.1	35.6	34.3
障がい者に適した住まいの確保	37.7	43.1	35.8	37.5	48.6
大規模な災害が起きた時の避難の支援	37.5	42.2	39.3	35.6	45.7
福祉に関する情報の充実	31.4	36.3	29.7	29.6	45.7
お金の管理や法的な手続きを支援する制度	30.4	50.0	36.2	23.0	17.1
周りの住民の理解	27.4	41.2	28.4	24.8	20.0
就労訓練や福祉的就労の場の充実	24.9	52.9	20.5	19.9	20.0
自宅で適切な医療的ケアが受けられること	23.3	11.8	14.8	32.3	25.7
同じ障がいのある人との交流会や余暇活動	23.2	37.3	22.3	21.1	14.3
利用したい福祉サービス（日中活動・グループホーム・用具など）を体験する機会	18.6	30.4	20.1	14.8	11.4
日常生活に必要な訓練（リハビリ）サービスの充実	18.2	21.6	13.1	21.1	22.9
成年後見制度や虐待、差別解消など権利擁護に関すること	15.3	23.5	16.6	13.0	11.4
意志疎通支援（手話通訳者や要約筆記者の派遣等）	6.4	7.8	3.9	8.8	2.9
その他	5.7	8.8	5.7	5.4	8.6
無回答	9.7	2.9	9.6	11.2	8.6

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

